

# 活動レポート

## オホーツク技術士会

文責：オホーツク技術士会幹事 岡田包儀

### 平成 25 年度定期総会及び技術研修会等の開催

#### 1. はじめに

本号では、主に定期総会に開催した技術研修会を中心に報告いたします。

#### 2. オホーツク技術士会役員会

役員会では、定期総会に向け 2012 年度事業報告・会計状況報告及び 2013 年度事業計画案等の検討を行った。

日時：2013 年(平成 25 年)2 月 26 日(火)

午後 6 時 30 分～午後 8 時 10 分

場所：北見工業大学(北見市)、出席者：計 9 名

#### 3. 第 12 回オホーツク技術士会定期総会

日時：2013 年(平成 25 年)4 月 15 日(月)

午後 4 時 00 分～午後 4 時 30 分

場所：ホテル黒部(北見市)、出席者：計 21 名

定期総会は、中崎副代表幹事が議長のもと 2012 年度事業報告・会計報告、2013 年度事業計画案等が審議され了承された。新役員体制は、次の通りである。

##### 2013 年度(平成 25 年度)役員体制

代表幹事：大島 俊之 北見工業大学

副代表幹事：島田 昭三

サン技術コンサルタント(株)

副代表幹事：中崎 孝俊 北見市市議会議員

副代表幹事：大内 幸則

北海道開発局網走開発建設部

幹事：市橋 加代 北見市役所

幹事：猪口 公志 サン技術コンサルタント(株)

幹事：平 成晴 網走市役所

幹事：橘 邦彦 (株)パール設計事務所

幹事：土田 好起 斜里建設工業(株)

幹事：本間美樹治 (株)中神土木設計事務所

幹事：牧野 勇治 (株)中神土木設計事務所

幹事：益村 公人 益村測量設計(株)

幹事(事務局)：岡田 包儀 北見工業大学

会計監査：坂上 琢也 (株)ドボク管理

会計監査：佐藤 貴之 北見市役所



写真-1 定期総会・懇親会等出席者

#### 4. 技術研修会

日時：2013 年(平成 25 年)4 月 15 日(月)

午後 4 時 30 分～午後 6 時 30 分

場所：ホテル黒部(北見市)、参加者：計 72 名

司会進行：猪口 公志 技術士



写真-2 技術研修会の状況(大島代表幹事挨拶)

##### 研修 1 講演要旨

講師：久保 元氏 日東建設代表取締役社長

演題：構造物の非破壊検査技術

雄武町(本社)で建設業を営んでいるが、公共事業激減の中、地域の雇用確保、余剰人員対策を図る



写真-3 久保元講師

ため異業種分野への進出を模索し、土木建設業に関連のある分野で、且つ技術力で勝てる分野への進出を検討した。

我が国の社会資本は、戦後のコンクリート構造物の更新時期を迎えているが、財政制約の下で、適切な維持・管理を施す予防保全対策の確立が求められている。この様な背景から、構造物の維持・管理を行う際に必要な非破壊強度試験器の開発に着目した。

非破壊試験器の開発方針については、安価、簡便、小型かつ軽量、できれば多機能型、測定精度が在来技術を凌駕する機器とした。

2003年から非破壊強度試験器(CTS)の研究開発を本格的に始め、2005年4月には、試験器が完成し全国販売を開始した。以降、改良型の製品等を開発・販売(国内及び海外)等を行っている。

この製品の特徴は、従来型の測定装置(リバウンドハンマ)よりも測定精度が良く、また、表面劣化が進行した場合、前処理(測定劣化面の切削・研磨処理)を行わず強度測定ができることである。

コンクリートテスターの用法としては、①完成検査、②中間検査(新設構造物)、③健全性診断(既設構造物)、④補修・補強工事の状態確認(着工前と完成後)、⑤詳細調査・補修箇所の絞り込み一斉緊急点検(災害発生後)等が挙げられる。

また、近年発生した笹子トンネル事故に対してCTSは、ボルトの付着力検証・評価に有効な結果が出されており、専用の測定器を現在、製作中である。

測定の一例としては、強度測定のみならず、①高架橋はくり調査、②サンドイッチ頂版空隙探査、③初期凍害診断等にも活用している。

今後の取組としては、①競争性のある技術戦略(論

文発表：CTS技術の優位性)、②販売代理店網の構築、CTSの規格化(JSNDIからJIS、ISO、ASTMへ)、③修理・検査体制の強化、④グローバル・スタンダードの構築、⑤海外商事部の構築、海外での展示会出展・技術説明会・デモの実施を更に展開する方針である。

## 研修2 講演要旨

演題：北見赤十字病院移転新築・改修工事について

講師：高橋 一幸氏

北見赤十字病院 新病院建設準備室長

講師：向山 松秀氏

石本建築事務所 執行役員札幌支所長

講師：小林 敬明氏

清水・北成・村井・

松谷特定建設工事共同企業体所長

現在、地域医療で大きな役割を果たしている北見赤十字病院の移転新築・改修工事が行われているが、三氏により本工事状況の講演をいただいた。



写真-4 高橋一幸講師

始めに高橋一幸氏より、病院の建て替えの必要性について、①施設・設備の老朽化、迷路化、狭隘化、②新たな医療機器の導入の必要性、③大規模災害時の対応(災害拠点病院)、④新たな地域ニーズへの対応、⑤駐車場の整備、アクセスの確保等が示された。

新病院の特徴としては、①誰でも利用できるカフェ、コンビニ、軽食等のアメニティ施設を配置して街のにぎわいを病院に創出。②医療機能の充実を図るために緩和ケア内科、歯科口腔内科を新設。ガン診断機能の充実を図りPET-CTの医療機器の導入。③救急医療の充実を図るためドクターヘリ、防災ヘリに対応するヘリポートの整備。救命救急センターと放射線・検査部門の連携の強化。④地域災害医療センター機能の充実等が挙げられた。



写真-5 向山松秀講師

向山松秀氏からは、施設整備の概要を示され、特に免震構造設計・免震装置等の詳細な技術的解説を行っていただいた。

病床規模：532床

新本館：地下1階～地上9階／RC造・免震構造他

敷地面積：25,597m<sup>2</sup>、建築面積：10,378m<sup>2</sup>(全体)

延床面積：50,815m<sup>2</sup>(全体)

駐車台数：289台、ヘリポート(新本館屋上)



写真-6 小林敬明講師

小林敬明氏からは、建設工事の行程計画、工事の進捗状況及び施工管理状況を説明いただいた。特に、施工管理に於いて、近隣住民への騒音・振動等の対策、交通渋滞の軽減に配慮した環境保全管理状況等が示された。

## 5. 新合格者、新規会員を含む祝賀懇親会

日時：2013年(平成25年)4月15日(月)

午後7時00分～午後8時30分

場所：ホテル黒部(北見市)、出席者：計24名



写真-7 懇親会に於ける島田副代表幹事の挨拶

新合格者・新規会員を含む祝賀懇親会においては、新合格者をお祝いし、情報交換を深めた。

## 6. その他

(1)寒地土木研究所 技術者交流フォーラム in 北見

日時：2013年(平成25年)年1月29日(火)

午後1時30分～午後5時20分

場所：ホテル黒部(北見市)

参加人数：約230名

共催：オホーツク技術士会他

○オホーツク技術士会会員からの講演

講師：平成晴技術士(現：網走市役所)

演題：道路付属施設の点検と維持管理

○オホーツク技術士会のパネル・機器展示

a) オホーツク技術士会の紹介

b) オホーツク技術紹介

日東建設(株)：コンクリートテスター



写真-8 平成晴技術士



写真-9 本技術士会展示

## (2)委員の依頼

○「環境情報協議会委員」の委嘱

依頼先：北海道オホーツク総合振興局

被推薦委員：島田昭三技術士

委嘱期間：H24年委嘱日～H26年3月31日

○「北見まちづくり協議会委員」の委嘱

依頼先：北見市

被推薦委員：橘 邦彦技術士

委嘱期間：H24年6月14日～H26年6月13日

## 7. おわりに

最後になりますが、会員皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。